



低髄液圧症候群について

低髄液圧症候群とは、交通事故による鞭打ち症やスポーツ外傷などにより髄液が漏れ、髄液圧が低下するために種々の症状が出てきます。髄液の産生が少なくなったり、漏れる量が多くなると、髄液量が少なくなり、脳や脊髄が下がります。髄液は脳室及びクモ膜下腔を囲む空間を満たす液体で約150mlあり脳脊髄を保護するクッションの働きをしています。漏れやすい場所は、頸胸椎移行部に多いようです。2000年1月頃から低髄液圧症候群が知られるようになり、日本全国に30万人位の患者がいます。

交通事故やスポーツ外傷などで頭や腰を打ち、鞭打ちになった人の中で髄液が漏れて髄液圧が低くなった人に発生しますが、めまい、頭痛、はきけ、厳しい倦怠感、脱力、集中力・思考力・記憶力の低下、視力障害、首がしめつけられた感じ、後頭部から首にかけての鈍痛、常に肩が凝った状態、背中痛み、あごの違和感、のどの痛みなどの症状がみられます。交通事故後の後遺症がすっきりしない人は、低髄液圧症候群の可能性があるので、髄液の漏れが無いか検査を受けましょう。検査はGd造影脳MRI、RI脳槽・脊髄腔シンチグラム、MRミエログラフィー、CTミエログラフィーなどで髄液漏出像を発見したり、髄液圧を測定して、髄液圧の低下により診断します。当院では、MRI検査、CTミエログラフィー等を行っています。

治療は、まず、安静臥床して水分を補給します。入院して点滴を受けるのが良いでしょう。この治療で2週間ほど経過を見て、症状が改善しなかった場合、硬膜外自家血注入を行います。これは通称ブラッドパッチと呼ばれ、漏出部位の脊椎硬膜外腔に自分の静脈血を注入し、血液が糊状に凝固し癒着をする事によって漏れを塞ぐ方法です。上記治療法で改善が見られない場合、漏出部位に外科的手術を行う場合があります。

また、原因不明の低髄液圧症候群患者様の20%が慢性疲労症状を訴えます。欧米では交通事故やスポーツ障害の後に慢性疲労症候群を訴える患者様が多いようです。慢性疲労症候群と言われてきた方たちが低髄液圧症候群の治療を受け良くなる場合もあるので、関連があると思われます。なお、強調しておきたいことは、鞭打ち症後遺症患者様の全てが、この低髄液圧症候群では無いということです。あまり過度な期待は禁物です。インターネットなどをみると、鞭打ち症の全てがこの治療で解決するかのような表現を見受けますが、あくまでも鞭打ち症の患者様の一部が、低髄液圧症候群であり、自己血硬膜外注入治療で全てを解決できるものでもありません。交通事故やスポーツ外傷の後に症状（主として頭痛）が半年以上継続している場合に、髄液漏の有無を検査する方が良いでしょう。また、自己血硬膜外注入は、脊髄周囲に異物（血液）を入れるわけですから、必ずしも100%安全な治療法ではないということです。特に胸髄や頸髄の場合は危険性が増します。精査の上、十分な説明を聞かれて納得された上で治療を受けられることをお勧めします。

大西脳神経外科病院の理念

生命を尊厳し、科学の心と芸術的技術と人間愛をもって病める人々に奉仕する。

大西脳神経外科病院の基本方針

1. 生命と人権を尊厳した医療を実践する。
2. 神経疾患の専門的・高度医療を実践する。
3. 常に新しい医学の修得に励む。
4. 救急医療は医療の原点と考え、24時間対応する。
5. 地域の医療機関との連携を密にし、地域協力型の医療を志向する。

患者さまの権利と責務

1. ご病気になられた場合は、私どもとの良好な信頼関係のもと、平等・公平に当院における最高の医療をお受けいただく権利があります。
2. ご病気に関しては、わかりやすく納得いく説明を受け、治療をお受けいただく権利があります。
3. ご自身の診療記録については、開示を求める権利があります。適当と判断できれば、ご本人、あるいはご家族に診療記録を開示いたします。
4. また、その診療情報が他人に漏れないように求める権利もあります。

5. 治療方針については、第三者の意見を聞くことのできる権利があります。その場合、私どもは、必要とされる医療情報の全てを提供いたします。
6. 私どもが、上記のことを達成し、良質で安全、効率的な医療をご提供するために、患者さまには、次のことをお守りいただきますようお願いいたします。
 - ①ご自身の健康に対する正しい情報の提供と、医療への積極的な参加
 - ②他の患者さまの診療に支障をきたさないためのご協力

あなたの「血管年齢」は・・・？

臨床検査室 主任 衣笠 千典

脳梗塞や脳出血は、血管の障害が原因となって起こる病気です。生理機能検査室では、血管の状態を見る検査をいくつか行っていますが、その一つである血圧脈波検査は、足の動脈の狭窄の有無や動脈の硬さを調べる検査です。動脈は年齢を重ねるとともに少しずつ硬くなりますが、動脈硬化によって更に硬くなる事があります。血圧脈波検査では、この血管の硬さを調べる事により、およその「血管年齢」を知ることが出来ます。「血管年齢」が上がると、高血圧の原因になったり、心臓などに負担がかかったり、動脈の狭窄が進みやすくなったりします。血管の硬さは、高血圧や高脂血症の改善により軽減されるとも考えられています。定期的に血管の検査を行い、適切な治療を受けるとともに、生活習慣の改善に努める事をおすすめします。

外来担当医表 (H26.4)		月	火	水	木	金
	1診(午前)	大西	埜本	久我	林	兒玉
	(午後)	埜本	大西	久我	林	兒玉
	2診(午前)	高橋	高倉	山田	高村	福留
	(午後)	高橋	高倉	山田	高村	福留
	3診(午前)	担当医	担当医	角田	担当医	担当医
	(午後)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	5診(午前)	神経内科・立花	担当医	神経内科・上田	内科・竈門(ｶﾞｯﾄﾞ)	担当医
	(午後)	神経内科・立花	担当医	角田	内科・竈門(ｶﾞｯﾄﾞ)	担当医
	6診(午前)	前岡	—	—	埜本	麻酔科・鈴木
	(午後)	—	—	—	—	麻酔科・鈴木

※診察受付時間：月～金 午前8：30～11：30、午後13：30～16：30

連携協力医療機関のご紹介 (No.52)

阪田整形外科リハビリクリニック 院長 阪田 賢吾

＜阪田院長からのメッセージ＞
 当院では、運動器リハビリ、脳血管疾患リハビリを行っており、理学療法士3名と共に、手術後、退院後の患者様の機能向上のリハビリに積極的に取り組んでおります。また、介護保険での短時間通所リハビリ、訪問リハビリも行っており患者様やご家族が安定した日常生活を送れるようご支援させていただきます。

診療科目 ★ 整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
 住 所 ★ 明石市西新町1丁目21-13
 電 話 ★ 078-926-1118

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
予約(2:00~3:30)	○	○	○	/	○	/	/
午後(4:00~7:00)	○	○	○	/	○	/	/

連携協力医療機関のご紹介 (No.53)

新見眼科 院長 新見 浩司

＜新見院長からのメッセージ＞
 ものを「見る力」は脳の働きと密接に関係します。目の症状があればお気軽に御相談ください。



診療科目 ★ 眼科
 住 所 ★ 明石市二見町東二見901-1
 電 話 ★ 078-949-5310

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(3:00~6:00)	○	○ 手術	/	○	○ 手術	/	/

お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参下さい。紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参下さい。
 JR大久保駅～山陽電鉄江井ヶ島駅間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からしていただけます。詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡しします。